

フィナンシャル・エコノミクス

尾崎 祐介 准教授

1. 担当教員の専門分野(研究領域)・現在の研究テーマ

ミクロ経済学的手法を用いた金融市場の分析が専門分野になります。最近の研究では、「曖昧性」「後悔」などが金融市場に与える影響についての理論的な分析を進めています。

2. 指導方針

修士論文が学術的な貢献になることが指導の目標になります。具体的には、日本語の学術雑誌に掲載される水準の論文を執筆することです。1年目では、アセットプライシングの基礎的な知識を習得したうえで、学術的な論文を読みこなす水準に達する必要があります。1年目は個別の指導ではなく、講義が中心です。2年目は研究テーマに関する網羅的なサーベイから始まって、最終的に修士論文を完成させます。

3. 学生に対する要望・その他

アセットプライシングの研究にとって理論と実証が車の両輪になります。そのため、アセットプライシングの研究を進めるためには、その両方の科目を1年次で履修することを求めます。教員は理論的な研究を専門的に行っているため、実証に関しては自主的な取り組みが求められます。また、修士課程の早い段階で進路(就職するのか、進学するのか)を決定する必要があります。修士の開始時点では、進学を前提とした指導を行う方針です。指導教員として希望する場合は、事前に面談を実施します。